

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成 27 年 5 月 28 日 (2015.5.28)

【公表番号】特表 2014-509745 (P2014-509745A)
【公表日】平成 26 年 4 月 21 日 (2014.4.21)
【年通号数】公開・登録公報 2014-020
【出願番号】特願 2014-501259 (P2014-501259)
【国際特許分類】

G 0 1 N 35/08 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 35/08 A

G 0 1 N 37/00 1 0 1

【手続補正書】
【提出日】平成 27 年 4 月 7 日 (2015.4.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項 1
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 1】

生物学的流体アッセイを行うマイクロ流体装置であって、
捕捉剤が付されている少なくとも 1 つの別個の反応ベッセル要素が挿入されている少なくとも 1 つの流体チャンネルを含む流体チャンネルを有する流体 / 反応ベッセル層を備え、前記反応ベッセル要素は、アッセイを行うために流体の流れに暴露されるように前記チャンネルに位置決めされており、

前記流体チャンネルの開口を封止すると共に、隣接するエリアにおいて前記流体 / 反応ベッセル層に結合されるチャンネル閉鎖層を備え、且つ、

前記装置は、前記別個の反応ベッセル要素において、反応の結果を観察する構成を有し、前記チャンネル閉鎖層は、前記流体チャンネルと前記要素をカバーする可撓性シートを有し、前記可撓性シートは、空気圧によって作動される流体弁として前記流体チャンネルの選択された領域において可撓性ダイヤフラムを形成し、前記可撓性シートは、前記流体 / 反応ベッセル層の反対の面において、前記要素の流体暴露を制御する前記流体弁の前記可撓性ダイヤフラムの空気による作動を可能にする空気チャンネルに面している、マイクロ流体装置。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 5】

流体チャンネルに沿う第 2 の選択された位置において、前記可撓性シートは、前記アッセイの流体を動かすための空気作動ピストンとしての可撓性ダイヤフラムを形成する請求項 1 又は 2 のマイクロ流体装置。